

For Advanced DTP users

ImgColorConv

USERS MANUAL

株式会社ユニテクス・ジャパン

まえがき

本書は、ImgColorConv（イメージカラー変換ツール）について記述したものです。
本マニュアルは、当社製品のSuperLayout（スーパーレイアウト）で編集し、印刷したものです。

* 本書中の社名や製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

ご注意

本書は著作権法の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社ユニテクス・ジャパンから文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

弊社はお客様の機器運用に関するいかなる損害の責任も負いません。

目 次

1	概要	1
2	使用方法	2
2.1	コマンドの起動	2
2.2	入力ファイル	2
2.3	出力ファイル	2
2.4	出力タイプ	2
2.5	特定色変換	2
2.6	特定レンジ色変換	3
2.7	カラー反転	3
3	処理例	4
3.1	特定色変換	4
3.2	特定レンジ色変換	5
3.3	カラー反転	5

概要

ImgColorConvは、入力イメージデータと特定色及び特定レンジの色を指定された色へ変換し、当社イメージフォーマット形式のイメージへ出力するツールです。現在入力イメージデータとしてサポートしているイメージファイルフォーマットは以下の通りです。

形式	説明
IMG	UNItEX-Japan画像データファイル
TIFF	Tag Image File Format (非圧縮、Macintosh RLE、CCITT modified Huffman RLE、CCITT G3 fax encoding、CCITT G4 fax encoding、Lempel-Ziv & WelchPackbits)
JPEG	JPEG圧縮画像ファイル (JFIF)
GIF	Graphics Interchange Format
XWD	X-Windowダンプファイル
SUN	SUNラスタ・ファイル
IRIS	SGI IRIS 'rgb' Format file
PBM	Portable Bitmap Toolkit file
BMP	Microsoft Windows Device Independent Bitmap
PCX	PC PaintBrush '.pcx' file

著作権)

Tag Image File Formatの著作権は、Adobe社が所有します。
 JPEGの著作権は、Joint Photographic Experts Groupが所有します。
 Graphics Interchange Formatの著作権は、CompuServe社が所有します。
 XWDの著作権は、X Consortiumが所有します。
 SUN Rasterfileの著作権は、Sun Microsystems社が所有します。
 IRISの著作権は、Silicon Graphics社所有します。
 PBMの著作権は、Jef Poskanzerが所有します。
 BMPの著作権は、Microsoft社が所有します。
 PCXの著作権は、Zsoft社が所有します。

使用方法

2.1 コマンドの起動 `ImgColorConv`は、以下のように行います。

書式 `imgcolorconv -i 入力ファイル名 -o 出力ファイル名 [他のオプション]`

2.2 入力ファイル 入力画像ファイルを指定します。以下の形式の画像ファイルを読み込むことが可能です。

IMG、TIFF（非圧縮、Packbits、LZW、G3、G4）、JPEG（JFIF）、GIF、XWD、SUN、IRIS、PBM、BMP、PCX

書式 `-i 入力ファイル名`

初期値 標準入力となります。

2.3 出力ファイル 出力画像ファイルを指定します。ここで指定したファイルへ変換後のイメージが出力されます。イメージフォーマットは当社イメージ形式（IMG）となります。

書式 `-o 出力ファイル名`

初期値 標準出力となります。

2.4 出力タイプ 出力するイメージのタイプを指定します。イメージタイプは下記のものから指定します。

BITMAP : 2値（白黒）で出力します。
COLORMAP : 256色カラーで出力します。
GRAY : グレイで出力します。
FULLCOLOR : 1660万色で出力します。

書式 `-c 出力タイプ`

初期値 入力ファイル名と同じになります。

2.5 特定色変換 変換対象となる色を指定した色へ変換します。

書式 `-sm 変換対象色=変換色`

変換対象色及び変換色はそれぞれRGB値で指定します。例えば赤を白へ変換する場合、
`-sm 255,0,0=255,255,255` と指定します。
本指定は複数指定可能です。

2.6 特定レンジ色変換 変換対象レンジ幅の色を指定した色へ変換します。

書式 -rm 変換対象最小色,変換対象最大色=変換色

変換対象最小色,変換対象最大色及び変換色はそれぞれRGB値で指定します。例えば黒～青を白へ変換する場合、

-rm 0,0,0,0,0,255=255,255,255 と指定します。

本指定は複数指定可能です。

2.7 カラー反転 カラー反転を行う場合に指定します。

書式 -r

本指定は特定色変換や特定レンジ色変換で変換したイメージに対してカラー反転を行います。

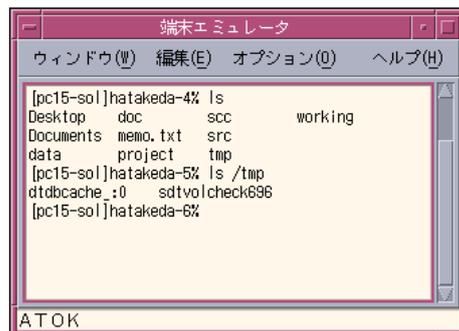
処理例

3.1 特定色変換

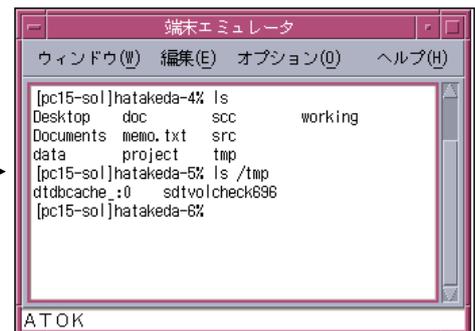
テキストの背景色 (255, 247, 233) を白 (255, 255, 255) へ変換する場合は以下のように実行します。

```
% imgcolorconv -i input.xwd -o output.img
-sm 255,247,233=255,255,255
```

変換前



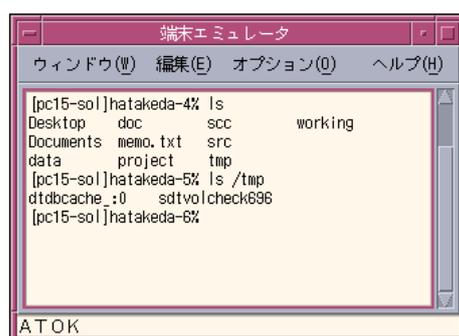
変換後



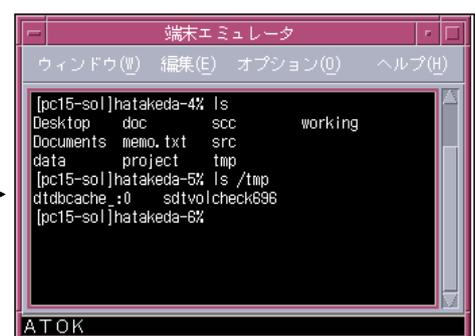
テキストの背景色 (255, 247, 233) を黒 (0, 0, 0) へ、文字色 (0, 0, 0) を白 (255, 255, 255) へ変換する場合は以下のように実行します。

```
% imgcolorconv -i input.xwd -o output.img
-sm 255,247,233=0,0,0
-sm 0,0,0=255,255,255
```

変換前



変換後

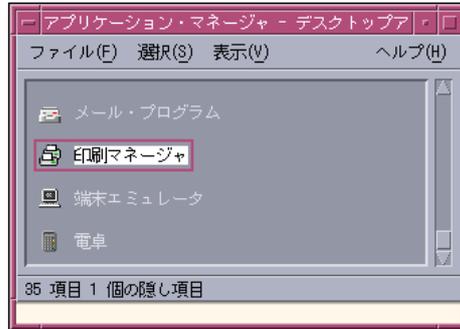


3.2 特定レンジ色変換

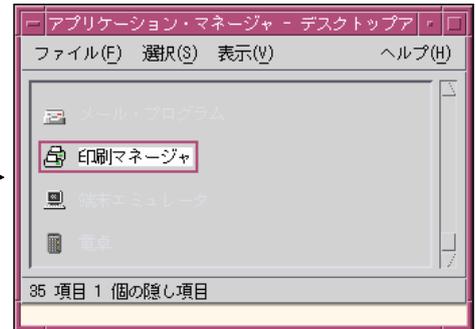
グレイの背景色 (147, 151, 165 ~ 174, 178, 195) を全て薄いグレイ (210, 210, 210) へ変換する場合は以下のように実行します。

```
% imgcolorconv -i input.xwd -o output.img  
-rm 147,151,165,174,178,195=192,192,192
```

変換前



変換後

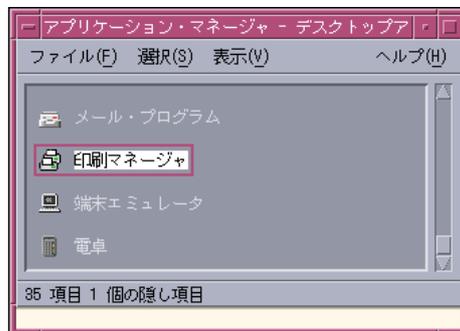


3.3 カラー反転

単純にカラー反転する場合には下記のように実行します。

```
% imgcolorconv -i input.xwd -o output.img -r
```

変換前



変換後

